

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年補遺版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB\_2010bpi&bei(v.2.11)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原中央PJ	階数	地上7F
建設地	相模原市中央区相模原三丁目277-3,277-7	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	114 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2014年12月15日
敷地面積	1,360 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	722 m <sup>2</sup>	確認日	2014年12月15日
延床面積	4,573 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 87%

上記+ 以外の: 87%

上記+: 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 2

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.3

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 内外装ともに温かみのある暖色系の色彩を用いて、賑やかな周辺環境に溶込ませると共に、閉鎖的な施設のようにならないように、道路際のファス等を極力少なくし緑地を多く設けることで公園のように開放的な計画とした。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 南面のバルコニーの手すりガラスとすることで自然採光を内部に積極的に取り入れる計画とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 外装はメンテナンスが少なくて済むよう、防汚性の高い材料を使用している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地面積の10%以上の緑化を行い、低木・中木・高木をバランス良く配置し周辺の近隣への圧迫感を低減するようにつとめた。隣地側に植栽を配置し、周辺環境に配慮した。北・南道路沿いに2Mの歩道上空を計画し周辺環境へ配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 自然通風を取り入れられるように、開放できる引違窓を多く採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ODPの高い材料は使わないよう配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 雨水の流出抑制施設を設置し、雨水排水負荷の低減に寄与している。騒音の出る空調室外機やダクトの音を騒音規制値内に納まるように計画した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 'ライフサイクルCO<sub>2</sub>'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される